

## 機能説明

### POWER LED

本機に電源が供給されている事を示す LEDです。

### INPUT SECTION

#### STEREO MAIN FADER

120mmロングストロークタイプのメインフェーダーで、本機に接続された主入力のレベルがコントロール可能です。LR定位は固定となります。通常、コンソールの STUDIO MONITOR SENDを接続します。

#### AUX SUB FADER

70mmショートストロークタイプのサブフェーダーで、本機に接続された AUX入力 (合計 6ch)のレベルがそれぞれコントロール可能です。AUXアサインスイッチを押すことによりチャンネルONになります。

#### AUX ASSIGN SW.

AUX入力された信号をL、R、センターのいずれかに定位させることが可能です。LR両スイッチを押すことによりセンター定位になり、また何も押さなければチャンネルOFFになります。

#### MONO MONITOR SW.

本機内のヘッドホンアンプ回路に送られる全ての信号をセンター定位モノラルにすることが可能です。

#### TALK BACK MIC.

内蔵されている高感度エレクトレットコンデンサマイクにより他との明瞭なコミュニケーションが可能です。ここで拾った音声はパワーサプライのTBアウトからラインレベルでバランス出力されます。

#### TALK BACK SW.

このスイッチを押している間のみ、内蔵マイクが生きます。押しながら話して下さい。また、3台のブランチをドライブできるシステムステーションCOM2883を使用することにより、ブランチCOM2804同士の会話が可能です。

## HEAD PHONE SECTION

### HEAD PHONE LEVEL

本機のヘッドホンボリュームです。まずメインフェーダーをゼロ位置 (ユニティー) に固定し、使用しやすい音量までヘッドホンボリュームを上げていってください。大出力のヘッドホンアンプ回路を搭載していますので上げ過ぎますとヘッドホンを破損するばかりか聴覚に支障をきたす恐れがありますので御注意下さい。

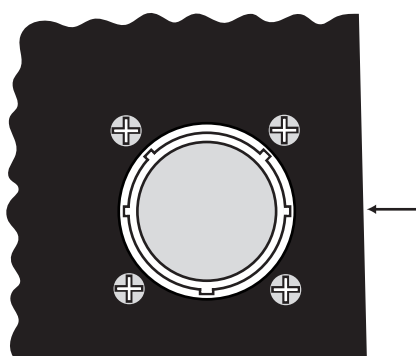
### HEAD PHONE JACK

A、Bは1/4インチステレオヘッドホンプラグ対応の出力、C、Dはミニステレオヘッドホンプラグ対応の出力です。1台から最高4台までのヘッドホンを接続して使用できます。

## NPUT

### COM CONNECTOR

専用パワーサプライから各オーディオ信号や±DCVの電源等を受け取るための専用コネクタです。ピン配列については別表を参照下さい。



BOTTOM VIEW

## メンテナンスに関する御注意

基板付けフェーダーユニットを採用しておりますので、フェーダー交換は御自分でなさらぬ様お願いいたします。ボリューム等に接点不良やガリが生じる様になりましたらメーカーメンテにお出し下さい。

## 仕様

モニター入力制御数	STEREO 1系統+AUX 6ch (Assignable Panpot)
入力インピーダンス	20K $\Omega$ バランス
入力基準レベル	+4dBm (1.23V R.M.S.)
周波数特性	5Hz~100kHz ( $\pm 0.5$ dB以内)
ヘッドホン定格出力	5W/8 $\Omega$ 負荷 3.2W/24 $\Omega$ 負荷 2.3W/40 $\Omega$ 負荷
入力コネクタ	JAESRCN2A25-24P
ヘッドホン出力ジャック	ステレオ標準 $\times 2$ ステレオミニ $\times 2$
TB出力	可変ラインレベル バランス
外形寸法 (突起部を除く)	285W $\times$ 184D $\times$ 51H
本体重量	1.4kg
電源	COM2881、2883または2871より供給

## 保証

本機が出荷日より1年以内に故障が発生した場合には、無料にて修理を行う事を約束致します。その場合、出荷日が明記された本書自体が保証書となります。この保証は日本国内においてのみ有効です。

保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。

- 1、使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- 2、お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
- 3、火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）異常電圧、指定外の使用電源等による故障及び損傷
- 4、車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
- 5、本書の提示がない場合
- 6、本書に出荷日が記入されていない場合、或いはこの字句を書き換えられた場合
- 7、本書に販売店印が押されていない場合
- 8、本書のナンバー（SER. NO.）と機器本体のナンバーが一致しない場合
- 9、遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費

無料保証期間内の1年間が過ぎた後も有料にて可能な限り修理を致します。